

## CPD 制度について

- 農業農村工学会技術者継続教育機構(継続教育機構)では、CPD 登録をされた技術者の日常の研鑽を評価するため、CPD 単位によって研鑽記録の登録・証明を行っています。
- 全国農村振興技術連盟会員になって、かつ継続教育機構に登録のうえ、①～④の連盟活動に参加いただくと、継続教育機構へ研鑽記録の申請ができます。
  - ① 会誌を購読していただくと、購読時間を「自己学習」として申請できます。  
年間最大 10CPD 単位の取得
  - ② 会誌の技術ノート、歴史探訪等に投稿して掲載されると「情報提供」として申請ができます。  
1 件最大 10CPD 単位の取得
  - ③ 夏・冬の中央研修会(※)に参加いただくと、「参加学習」として評価されます。  
参加 1 時間毎に 1 CPD 単位、最大 5 CPD 単位の取得  
[※毎年、開催する、豊富な経験と知識を有する講師による講演会]
  - ④ 「リモート現場見学会」(年 2 回)に参加いただくと、「参加学習」として評価されます。  
参加 1 時間毎に 1 CPD 単位の取得